

➤ 14日 火曜

箴言

16:20 みことばによく通じた者は幸いを見出す。【主】に拠り頼む者は幸いである。

16:21 心に知恵のある者は、悟りのある者と呼ばれ、そのことばの心地よさは理解を増し加える。

16:22 賢明さは、これを持つ者にはいのちの泉。愚かさは、愚か者への懲らしめ。

16:23 知恵のある者の心はその口を賢くし、その唇に洞察を深める。

16:24 親切なことばは蜂蜜。たましいに甘く、骨を健やかにする。

16:25 人の目にはまっすぐに見えるが、その終わりが死となる道がある。

16:26 苦勞する者は食欲のために働く。その口が彼を駆り立てるからだ。

16:27 よこしまな者は悪を企む。その唇の上にあるものは焼き尽くす火のようだ。

16:28 ねじれ者は争いを巻き起こし、陰口をたたく者は親しい友を離れさせる。

16:29 暴虐を行う者は自分の隣人を惑わし、良くない道へ導く。

16:30 目で合図する者はねじれごとを企み、唇をすばめる者は悪をやり遂げた者だ。

16:31 白髪は栄えの冠。それは正義の道に見出される。

16:32 怒りを遅くする者は勇士にまさり、自分の霊を治める者は町を攻め取る者にまさる。

16:33 くじは膝に投げられるが、そのすべての決定は【主】から来る。

知恵のあることばは人を「心地」よくするので、理解してもらえます。理解されないと周囲を嘆く前に、知恵によって語ることを心がけましょう。それには「みことば」によく通じることです。そうする



と知恵だけでなく、蜂蜜用のように人に喜びを与えます。

自分に「よこしま」や「ねじれ者」の心などがないか、内面を探ってみましょう。また「暴虐」を行う者などが成功しているのを見ても、心を動かされないようにしましょう。「その終わり」は死であり、「親しい友」は離れ去っていくからです。

「白髪」は人生経験と、そこから来る忍耐や知恵をイメージさせますから、良いものです。経験を活かすすなら「正義」とは何かを悟りこともできるでしょう。

正義の「怒り」で攻撃するのが「勇士」ではなく、怒りよりも主のみこころを行うのが真の勇士です。なので、自分の「霊」が主に向くように、「治め」、コントロールしましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

